



水道技術者研修会（Bコース：11月25日～12月6日）

水道事業体及び賛助会員の技術系職員（水道歴概ね3年以上）の方々75名の参加を得て、「水道計画」、「土木材料及び施工法・水道資材」、「水道基礎工学」、「取水・貯水施設」、「導・送・配水施設」、「水道の危機管理」、「浄水施設」、「機械設備・電気設備」、「計装設備」、「漏水防止実習」、「水質管理（概論）」、「水質管理（浄水処理・送配水）」、「給水装置」について研修を実施したほか、「工場見学（株式会社クボタ 京葉工場）」及び「浄水場見学（千葉県企業局 柏井浄水場）」を行った。

また、研修会初日及び最終日に行われたグループ別ディスカッションを通じて情報交換が行われた。

配管設計講習会（関西会場：12月4日～6日、九州会場第2回：12月18日～20日）

水道事業体及び設計業者等の経験が少ない水道技術者の方々95名（関西会場48名、九州会場第2回47名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第8回：12月10日～13日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務に関する研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（大阪会場第2回：12月10日～13日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々7名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプ実流試験装置を使った実習等を通じて機器類の運転・操作を体験するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第33回広報専門委員会（12月10日）

はじめに、審議事項「委員長の互選について」を上程し、委員長には、これまで副委員長であった名古屋市上下水道局経営本部企画経理部広報サービス課長の小野田委員を、このことにより空席となった副委員長には、東京都水道局サービス推進部サービス推進課長の金子委員をそれぞれ選任した。

次に、委員から提案された情報交換事項として「①広報紙による情報発信の充実及び災害時・緊急時の情報発信について」、「②広報紙による水道事業広報の実施状況について」、「③ペットボトル水の製造について」、「④湯水発生時の市民向けの広報活動について」、「⑤子育て世代に対する広報」、「⑥浄水場施設見学について」、「⑦高齢者等に対する情報発信について」、それぞれ活発な意見・情報交換が行われた。

最後に、事務局から「第61回水道週間について」等の報告を行った。



第2回水道施設管理業務評価マニュアル案改訂委員会（12月11日）

水道施設管理業務評価マニュアル案の改訂に係わる第2回委員会を開催し、改訂版の構成及び目次案、評価指標の見直し対象、新規評価指標項目について審議を行った。

次回委員会では、新規評価指標の定義等について審議を行う予定である。

地震等緊急時対応の手引き改訂特別調査委員会 第2回相互応援ルール等に関する小委員会（12月11日）

はじめに、議題1「第1回相互応援ルール等に関する小委員会の議事録について」を上程し、原案のとおり承認された。

次に、議題2「地震等緊急時対応の手引きの改訂について」、議題3「大規模災害時（首都直下地震、南海トラフ巨大地震）における応援モデルについて」を上程し、改訂素案を審議するとともに、当小委員会での意見等を踏まえ、次回の小委員会であらためて審議することとなった。

また、報告事項「令和元年台風第19号における日本水道協会の対応について」、事務局から資料に基づき説明があった。



水道施設耐震技術研修会（東京会場：12月11日～13日）

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々95名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「水道施設の耐震設計の基本事項」、「水道施設の耐震設計方法」、「施設別の耐震設計」、「水道施設の耐震設計実務」、「施設（構造物）の設計事例と解説」について研修を実施した。

第47回 IWA 日本国内委員会（12月13日）

任期満了に伴う委員の変更があったため、正・副委員長の互選が行われ、委員長には松井北海道大学大学院工学研究院教授が、副委員長には吉田日本水道協会理事長が選任された。

続いて、2018年第11回国際水協会（IWA）世界会議・展示会開催国委員会から譲渡を受けた資金の活用方法について、前回委員会での議論に基づき審議が行われた。

報告事項としては、IWA の最近の動きや、IWA 関連イベントの参加報告及び今後開催されるイベントの説明がなされた。また、本委員会下部組織である Japan-YWP から活動概要について報告があった。



第61回国際委員会（12月17日）

任期満了に伴う委員の変更に伴い、正・副委員長の互選が行われ、委員長には阪札幌市水道局給水部長が、副委員長には松井北海道大学大学院教授が選任された。続いて、令和元年度の国際研修の実施について報告を行った後、令和2年度国際研修計画案について審議が行われ、了承された。

その後、国際イベントの開催・参加報告として「The Laos-Japan Waterworks & MaWaSU2

Conference 2019（ラオス）」他6件、その他の国際活動の実施報告として「JICA2019年度課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計（A）」」他2件、並びに今後開催される国際イベントとして「2020年第12回 IWA 世界会議・展示会（コペンハーゲン）」等の予定について報告した。



第149回水道 GLP 認定委員会（12月17日）

水道 GLP 認定について、愛知県水質試験所（JWWA-GLP033）、株式会社東洋電化テクノロジー（JWWA-GLP077）、盛岡市上下水道局（JWWA-GLP078）と尼崎市公営企業局（JWWA-GLP124）が認定更新検査機関として、倉敷市水道局（JWWA-GLP057）、岡山県広域水道企業団（JWWA-GLP102）、一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター（JWWA-GLP103）と豊田市上下水道局（JWWA-GLP104）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

第255回衛生常設調査委員会（12月18日）

最近の水道水質管理の動向について、厚生労働省の林水道水質管理官から、六価クロム化合物の水質基準値強化の経緯と今後の予定、PFOS・PFOAの暫定目標値の検討、水質検査方法告示に関する主な検討事項の説明があった。



審議事項として、JWWA 規格（水道用大口径バタフライ弁（JWWA B121）、水道用バタフライ弁（JWWA B138））において、新たな材料として SUS630を追加することに伴う衛生性について、水道用薬品及び資機材に関する衛生性調査専門委員会で検討した結果を審議し、衛生性に問題がないことを承認した。

また、水道用粉末活性炭（JWWA K113）の品質項目に、2-MIB 価を盛り込むための検討開始について審議した。複数の事業体の委員より、2-MIB 価の測定結果を安定させるための測定方法（振盪方法・試料懸濁液の調整等）が報告された。これを受け、水道用資機材及び薬品の衛生性調査専門委員会にて、2-MIB 価の規格化の検討を開始することを了承した。

また、水道用粉末活性炭（JWWA K113）の品質項目に、2-MIB 価を盛り込むための検討開始について審議した。複数の事業体の委員より、2-MIB 価の測定結果を安定させるための測定方法（振盪方法・試料懸濁液の調整等）が報告された。これを受け、水道用資機材及び薬品の衛生性調査専門委員会にて、2-MIB 価の規格化の検討を開始することを了承した。

続いて、水質試験方法等調査専門委員会からの報告として、上水試験方法（2011年版）の改訂作業の進捗状況を事務局より説明した。現在、部会内で原稿の査読を終え、その修正を行っていることを報告した。そして、無機物部会、有機物部会及び微生物・生物部会における水質検査法の検討事項について、事務局より報告した。さらに、前回委員会で承認された「突発水質汚染の監視対策指針2002」の改訂版「水質異常の監視・対策指針2019」が発刊されたことを事務局より報告した。

なお、その他として、各委員より所属事業体の近況・課題及び取組について報告を行った。

第981回会誌編集委員会（12月22日）

本誌1月号・2月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

会員名簿記載事項の訂正について

令和元年12月に発刊した会員名簿の記載事項に、以下のとおり一部誤りがございました。
ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

正会員

頁	支部	会員番号	会員名	訂正項目	正（訂正箇所の下線）	誤（訂正箇所の下線）
35	山形県支部	206039	西川町	主任者	課長 <u>土田</u> 浩行	課長 <u>工田</u> 浩行
69	愛知県支部	223087	西尾市	主任者	部長 <u>榑原</u> 伸尚	部長 <u>柳原</u> 伸尚
118	岡山県支部	233061	美作市	主任者	部長 <u>森元</u> 浩之	部長 <u>森本</u> 浩之
120	山口県支部	235009	岩国市	管理者	水道事業管理者	水道事業管理者
				主任者	局長 <u>辻</u> 孝弘	局長 <u>辻</u> 孝弘

委員会

頁	委員会名	訂正項目	正（訂正箇所の下線）	誤（訂正箇所の下線）
290	認証制度運営委員会	任期	平成31.4.1～令和 <u>3</u> .3.31	平成31.4.1～令和 <u>2</u> .3.31
291	認証審査委員会	任期	平成31.4.1～令和 <u>3</u> .3.31	平成31.4.1～令和 <u>2</u> .3.31